



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	107,455	△26.1	6,528	△56.9	6,612	△54.8	3,137	△67.7
2020年3月期第2四半期	145,315	4.2	15,139	4.1	14,638	△3.7	9,699	△17.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △932百万円 (△113.4%) 2020年3月期第2四半期 6,968百万円 (7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	30.85	—
2020年3月期第2四半期	94.06	90.66

(注) 2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	284,594	162,907	56.6	1,585.77
2020年3月期	304,184	168,786	54.8	1,630.57

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 161,034百万円 2020年3月期 166,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△16.7	18,500	△37.8	18,200	△36.7	11,300	△38.3	111.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	107,508,954株	2020年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	5,959,433株	2020年3月期	5,300,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	101,675,576株	2020年3月期2Q	103,127,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、足もとでは製造業、非製造業とも持ち直しの動きが見られたものの、改善幅は限定的であり、個人消費も夏場以降回復が足踏み状態である等、依然として先行きに不透明感が残る状況で推移いたしました。海外に目を転じますと、中国では、2月半ばより経済活動が再開され、自動車販売も購入規制緩和や補助金によって回復基調が続いていますが、回復ペースは緩い状況にあります。欧州経済については、ユーロ圏では5月に入り多くの国がロックダウンを段階的に緩和したことに伴い徐々に経済活動が再開したものの、回復ペースは国ごとに差異がみられました。また、米国においては、4月末から経済活動の再開が進んだことを受け、製造業生産は緩やかに持ち直しの動きがありましたが、消費者の自粛ムードが景気回復の足かせになっている状況です。このように世界経済は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では需要が回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症に伴う一時期の落ち込みが影響し、対前年同期比で生産台数、販売台数ともに下回った状況となり、海外におきましても、中国市場、米国市場及び欧州市場において、生産台数、販売台数ともに前年割れの状況となっています。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比26.1%減の1,074億5千5百万円となりました。

利益面では、新型コロナウイルス感染症の影響により一時期、工場の操業調整を行い、販売費及び一般管理費が対前年で減少したものの、営業利益は前年同期比56.9%減の65億2千8百万円となりました。経常利益は為替差益の発生等があったものの、前年同期比54.8%減の66億1千2百万円となりました。また、ドイツ子会社における火災発生による損失、及び海外子会社における新型コロナウイルス感染症による操業休止損失等があり、特別損失として15億6千0百万円計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比67.7%減の31億3千7百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車販売が新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にあるものの、一時期の落ち込みが影響し、売上高は減少となりました。海外におきましても、同様な状況となり、全体としては前年比で減収となりました。利益面においても、売上高の減少による限界利益の減少等により収益性が悪化、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比27.3%減の961億0百万円となり、セグメント利益につきましては、前年同期比51.3%減の76億7千1百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内では新型コロナウイルスの緊急事態宣言終了後、催事等の再開により卸・小売の売上が回復基調となり、国外では香港・シンガポールで新型コロナウイルスの影響が長引くものの、中国では卸・小売が急回復。しかし、第1四半期での落ち込みが大きく、第2四半期も減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のベッドおよび家具事業売上高は前期比13.5%減の113億5千4百万円となりました。セグメント利益につきましては、前期比37.8%減の12億8千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ195億8千9百万円減少して、2,845億9千4百万円となりました。減少要因としては、建物及び構築物が28億1千9百万円増加したものの、売上高の減少により受取手形及び売掛金が112億1千7百万円と電子記録債権が14億9千5百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ137億9百万円減少して、1,216億8千7百万円となりました。減少要因としては、支払手形及び買掛金が25億4千9百万円、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が105億円、未払金が10億8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ58億7千9百万円減少して、1,629億7百万円となりました。主として自己株式取得により自己株式が12億9千6百万円、円高により為替換算調整勘定が44億5千万円それぞれ減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は56.6%、1株当たり純資産は1,585円77銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、176億7千万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間が160億7千1百万円の資金の増加であったことに比べて、15億9千9百万円の増加となりました。これは、税金等調整前当期利益が減少したことに加え、たな卸資産が増加したことにより資金減がありました。一方で、売上債権が減少したことなどにより資金増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、61億円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間が89億3千8百万円の資金の減少であったことに比べて、28億3千7百万円が増加しました。これは、前年同期間と比較して固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、149億4千万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間が76億4千3百万円の資金の増加であったことに比べて、225億8千3百万円減少となりました。これは主に、社債の償還による支出があったことと、前年同期間は社債の発行による収入があったことによるものであります。

これらの増減に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を合せますと、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて47億1千6百万円減少し、838億3千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

1. 業績予想の修正について

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 2020年7月27日発表	224,000	13,500	13,800	9,000	88 63
今回修正予想 (B)	240,000	18,500	18,200	11,300	111 20
増減額 (B - A)	16,000	5,000	4,400	2,300	—
増減率 (%)	7.1	37.0	31.9	25.6	—
(ご参考) 前期通期実績 (2020年3月期)	288,012	29,737	28,765	18,321	177 87

通期連結業績予想の修正理由

2021年3月期につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、各国政府による休業要請や主要顧客の工場稼働停止等の状態から、直近では中国を始め北米・日本での工場生産の回復が見られ、期末に向けても自動車向け需要の復調傾向が見込まれるため、売上高が当初の想定を上回る見込みです。また各利益につきましても、売上高の回復に伴う利益増や、徹底した固定費の削減、投資抑制効果等により増益が見込まれるため、修正致します。

なお、連結業績予想に用いた主な為替換算レートは、107円/米ドル、120円/ユーロです。

2. 中間配当の実施および期末予想の修正について

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月18日発表)	前期実績 (2020年3月期 中間)
基準日	2020年9月30日	2020年9月30日	2019年9月30日
1株当たり配当金	25円00銭	未定	31円00銭
配当金の総額	2,547百万円	—	3,203百万円
効力発生日	2020年11月30日	—	2019年12月2日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり年間配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2020年5月18日発表)	未定	未定	未定
今回修正予想	—	25円00銭	50円00銭
当期実績	25円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	31円00銭	31円00銭	62円00銭

(3) 理由

2021年3月期の配当予想につきましては、未定としておりましたが、足元では一定の業績回復が見込まれるため、今回の業績予想に基づき、株主の皆様への利益還元や将来の経営環境の変化等を勘案し、2021年3月期の配当予想を公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,115	84,297
受取手形及び売掛金	48,704	37,486
電子記録債権	6,653	5,157
有価証券	547	2,004
商品及び製品	20,374	20,901
仕掛品	2,000	2,144
原材料及び貯蔵品	6,407	7,108
その他	8,833	7,695
貸倒引当金	△340	△751
流動資産合計	183,295	166,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,941	47,760
機械装置及び運搬具(純額)	22,908	21,508
工具、器具及び備品(純額)	5,118	5,099
金型(純額)	5,316	5,280
土地	17,803	17,507
リース資産(純額)	58	57
建設仮勘定	8,591	7,906
その他	4,586	4,005
有形固定資産合計	109,324	109,127
無形固定資産		
のれん	1,316	1,139
その他	1,463	1,302
無形固定資産合計	2,779	2,442
投資その他の資産		
投資有価証券	4,672	2,721
繰延税金資産	1,550	1,595
その他	2,973	3,063
貸倒引当金	△413	△400
投資その他の資産合計	8,783	6,979
固定資産合計	120,888	118,549
資産合計	304,184	284,594

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,706	16,157
1年内償還予定の社債	617	202
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	10,500	—
短期借入金	8,452	9,798
1年内返済予定の長期借入金	747	1,270
未払金	4,652	3,644
未払法人税等	2,603	2,400
賞与引当金	1,878	1,891
その他	12,561	13,011
流動負債合計	60,720	48,375
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	26,229	25,740
繰延税金負債	4,647	4,430
退職給付に係る負債	4,354	4,131
その他	4,444	4,010
固定負債合計	74,676	73,312
負債合計	135,397	121,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	13,794	13,686
利益剰余金	163,779	163,737
自己株式	△12,601	△13,897
株主資本合計	172,262	170,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284	326
繰延ヘッジ損益	△18	△16
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	△4,025	△8,475
退職給付に係る調整累計額	△1,850	△1,623
その他の包括利益累計額合計	△5,603	△9,782
非支配株主持分	2,128	1,872
純資産合計	168,786	162,907
負債純資産合計	304,184	284,594

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	145,315	107,455
売上原価	105,948	※1 79,963
売上総利益	39,366	27,491
販売費及び一般管理費	24,227	※1 20,962
営業利益	15,139	6,528
営業外収益		
受取利息	159	111
投資有価証券評価益	224	—
為替差益	—	54
その他	528	470
営業外収益合計	913	637
営業外費用		
支払利息	322	300
為替差損	738	—
その他	353	253
営業外費用合計	1,414	554
経常利益	14,638	6,612
特別利益		
固定資産売却益	37	133
受取保険金	—	※2 360
特別利益合計	37	493
特別損失		
固定資産処分損	11	19
固定資産売却損	220	—
火災損失	—	※3 833
新型コロナウイルス感染症による操業休止損失	—	※4 478
減損損失	—	228
特別損失合計	231	1,560
税金等調整前四半期純利益	14,444	5,545
法人税等	4,398	2,225
四半期純利益	10,045	3,319
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,699	3,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	42
繰延ヘッジ損益	△7	2
為替換算調整勘定	△3,259	△4,523
退職給付に係る調整額	167	226
その他の包括利益合計	△3,077	△4,251
四半期包括利益	6,968	△932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,619	△1,041
非支配株主に係る四半期包括利益	348	109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,444	5,545
減価償却費	8,345	6,580
減損損失	-	228
のれん償却額	187	158
火災損失	-	833
受取保険金	-	△360
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	423
賞与引当金の増減額(△は減少)	56	17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	309	88
受取利息及び受取配当金	△200	△143
支払利息	322	300
為替差損益(△は益)	661	159
固定資産売却損益(△は益)	182	△133
固定資産処分損益(△は益)	11	19
投資有価証券評価損益(△は益)	△224	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,430	11,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	923	△2,657
その他の資産の増減額(△は増加)	△700	640
仕入債務の増減額(△は減少)	200	△2,116
未払又は未収消費税等の増減額	△642	337
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,585	△1,309
その他	265	322
小計	21,180	20,535
利息及び配当金の受取額	219	106
利息の支払額	△303	△289
火災損失の支払額	-	△320
保険金の受取額	-	360
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,025	△2,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,071	17,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△951	△235
定期預金の払戻による収入	1,828	1,787
有価証券の売却及び償還による収入	523	69
固定資産の取得による支出	△11,473	△7,882
固定資産の売却による収入	1,046	262
投資有価証券の取得による支出	△87	△35
投資有価証券の売却による収入	202	-
その他	△26	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,938	△6,100

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,724	15,556
短期借入金の返済による支出	△13,861	△14,102
リース債務の返済による支出	△697	△701
長期借入れによる収入	—	519
長期借入金の返済による支出	△589	△412
社債の発行による収入	14,920	—
社債の償還による支出	△783	△10,859
自己株式の売却による収入	17	15
自己株式の取得による支出	△516	△1,419
配当金の支払額	△3,204	△3,179
非支配株主への配当金の支払額	△366	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,643	△14,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,304	△1,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,471	△4,716
現金及び現金同等物の期首残高	74,200	88,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,672	83,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社、一部の国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の有形固定資産(当社及び一部の国内連結子会社の1998年4月1日以降に取得した建物ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物を除く)の減価償却方法については、従来、定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

この変更は、当連結会計年度における国内新工場の本格稼働及び2021年度より始まる新中長期経営計画の策定を契機とし、有形固定資産の減価償却方法について改めて検討を行った結果、近年、各車種の発売時以降の販売台数の推移が安定化傾向にあることや生産車種の構成部品が汎用化傾向にあり、今後長期にわたり安定的な稼働が見込まれるため、耐用年数の期間にわたって均等に費用配分を行うことが有形固定資産の使用実態をより適切に反映できると判断したことによるものであります。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,411百万円増加しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 売上原価、販売費及び一般管理費

当社及び一部の連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした各国政府等の要請にもとづき、各拠点の稼働停止を実施した期間及び稼働時間を短縮した期間にかかる休業手当等に対して各国政府から雇用調整助成金等を受給しております。当該助成金収入は、関連する人件費等(売上原価655百万円、販売費及び一般管理費119百万円)と相殺して表示しております。

※2 受取保険金

2020年2月に海外連結子会社であるNifco Germany GmbHにおいて発生した火災事故に係る保険金の受取額です。なお、今後においても、当火災事故に伴う損失額について追加的な保険金の受取りが見込まれます。

※3 火災損失

2020年2月に海外連結子会社であるNifco Germany GmbHにおいて発生した火災事故による損失額を計上しております。当該損失には現時点で合理的な見積りが可能な範囲における見積額を含んでおります。

※4 新型コロナウイルス感染症による操業休止損失

当社グループの海外連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした現地政府等の要請に基づき、一部の生産拠点が操業休止した期間の人件費や減価償却費等を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,183	13,131	145,315	-	145,315
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	132,183	13,131	145,315	-	145,315
セグメント利益又は損失(△)	15,762	2,062	17,825	△2,686	15,139

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,686百万円は、全社費用△2,686百万円及びセグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,100	11,354	107,455	-	107,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	96,100	11,354	107,455	-	107,455
セグメント利益又は損失(△)	7,671	1,282	8,954	△2,425	6,528

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,425百万円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間から「その他」のセグメント区分を廃止し、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業は合成樹脂成形品事業へ集約しております。

このセグメント区分の変更は、「その他」のセグメント区分の事業を担う会社が株式会社ニフコトレーディング1社であり、質的及び金額的重要性が乏しくなってきたこと、ファクタリング事業から始まった同社の主たる事業が合成樹脂成形品の販売や親会社である株式会社ニフコ(合成樹脂成形品事業)からの業務受託となり、売上、利益とも過半を占めるようになってきたことによるものです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、当社、一部の国内連結子会社、及び一部の海外連結子会社の有形固定資産(当社及び一部の国内連結子会社の1998年4月1日以降に取得した建物ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物を除く)の減価償却方法については、従来、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の「合成樹脂成形品事業」のセグメント利益は1,411百万円増加しております。